

すいた市民環境会議 吹田の郷

◆発行/すいた市民環境会議◆代表/小田忠文◆事務局/564-0032 吹田市内本町2-18-8 ☎FAX06-6319-0630小田(18時以降)

◆年会費/個人会員1000円 法人会員10000円 ◆振り込み先/00980-3 28845 すいた市民環境会議

すいた市民環境会議

第3回 総会

日時 '99年5月30日(日) 午後2時～4時
場所 吹田市民会館・大集会室(1階)

《プログラム》

- 1. 開会
- 2. 会長・挨拶
- 3. 来賓・挨拶/祝電披露
- 4. 総会/議長選出

< 議事 >

- ・ 第1号議案 1998年度の活動報告
- ・ 第2号議案 1998年度の会計報告
- ・ 第3号議案 1999年度の活動計画
- ・ 第4号議案 1999年度の予算
- ・ 第5号議案 1999年度の新役員の承認

議長解任

- 5. 会長承認の挨拶
- 6. 当面の活動
- 7. 閉会

懇親会

- 1)スライダー―すいた市民環境会議活動紹介
 - 2)吹田の生き物調査(ため池・ツバメ)紹介
- ほか

◆会費 1000円 ◆申し込み締め切り 5月25日 ☎06-6319-0630小田(18時以降)

◎ 当日欠席の方は、同封の委任状を提出してください。

すいた市民環境会議発足3年目を迎えて

会長 小田 忠文

すいた市民環境会議は発足して丸2年たち、この春から3年日にはいりました。振り返れば、この2年間はがむしゃらに走り続けてきました。そして他の団体との協力関係が深まりました。

一年目は吹田自然観察会の方々の協力を得て市内の古木大木調査を行い、互いの親睦が深まりました。

二年目は吹田野鳥の会の皆さんの協力でツバメの生息調査を行い、市内450余りのツバメの巣を確認しました。また市内のヒメボタルの調査では西山田自然観察会、吹田自然観察会の皆さんの協力に加え、千里山や西山田地区の皆さんとも協力しあえました。

一年目に作成した『すいたの古木大木調査』の冊子をたずさえて市内の大木を見ながら歴史を見て、まちなみを考えながらの散策を行い、会員の皆さまも大勢参加して下さいました。

昨年秋からは大阪自然環境保全協会が行った「よみがえれ紫金山作業」に組織的に参加し、紫金山の「紫」つまりコバノミツバツツジの復元作業で多くの市民の皆さまと汗を流しました。

今年3月には会員の皆さまのアンケート結果から「吹田の自然と環境保全」のテーマでシンポジウムを開催し、紫金山で50人以上の会員の方々と真剣に、楽しく討論しました。

一方、行政に「環境講座」の開催を要望し、生活環境部環境公害課が講座を主催し、私たちが講座の企画に協力しました。行政への参画の第一歩と位置づけています。この講座には多くの市民の方々が参加され、好評でした。今後も続けていきたいと思えます。

このように「多くの会員、市民とともに行政と協働で環境問題を考えていく」という、すいた市民環境会議の設立主旨にそって徐々にではありますが歩み始めています。その意味でも岸田恒夫市長が会員になって下さったことは喜びです。

会の発足当時からの会員である阪口善雄氏が「市民参画」「協働」を公約に市長選挙で当選なさいました。この5月から新市長として行政の舵取りをなさいます。今後、行政とのパートナーシップの発展を期待するとともに、我々の組織としての充実がますます要求されてきます。

これからは事業者の方々とも協力しあい、自然環境のみならず、ゴミ問題、炭酸ガス排出問題、歴史的町並みをも含めたまちづくりに関しても行動していく必要を感じます。

そして市内で活躍していらっしゃる他の多くの非営利活動の団体との親睦・交流を盛んにしていく必要性も感じています。

反省することも多々ありますが、会員の皆様の活動への積極的な参加を期待します。また、活動に参加できなくても、会員であるというだけで大きな力になりますので、一層の会員増加にむけ、皆様の協力をお願いいたします。



1998年度 活動のまとめ

すいた市民環境会議は2年目を迎えて、より充実した活動と提言ができるようになりました。大阪府からは、私たちの環境問題に対する取り組みを認めていただいて「第2回おおさか環境賞・奨励賞」を受けました。また、行政や企業の方と協力し、環境問題の取り組みを進めてきました。その中で、お互いの立場を尊重しながら事業を進めていくことの重要性と同時に、パートナーシップを築いていく上での困難な問題にも直面しました。

市役所の縦割り行政のため、行き違いや実現までに時間がかかることを経験しました。行政から「市民とともに」「市民の声を行政に反映させる」等のかけ声は聞こえてくるのですが、その具体策には乏しいものを感じました。

「行政と市民との連携」を市民サイドからも具体的な方法を提起しながら、ねばり強く進めていく必要を感じた1年でした。

すいた市民環境会議の独自活動は、多岐にわたり、市民の手作りのボランティア活動によって進められてきました。

- (1) 環境問題の政策に対して具体的な提言や提案を行い、一つ一つ実現していくことができた。
- (2) 吹田市の環境に関する委員会や催しに委員を出し、また組織的な参加をして参画してきた。
- (3) ヒメボタルやため池のトンボ、ツバメの巣の状況など市内の生き物たちの環境調査を実施した。
- (4) 会員と市民に環境を考える学習会を優しくてわかりやすいことをめざした市民参画型で実現してきた。
- (5) 吹田市や近隣都市での環境問題に取り組んでいる諸団体との連携、協力、交流を行った。
- (6) 自らの組織を充実させるための様々な活動を行い、会員も大幅に増加した。

今後も、市民活動として吹田市の環境行政に働きかけ、企業との連携を深めながら、活動していきたいと思えます。

【主な活動】

1. 提言・提案・要望

(1) 環境問題での要望書などを提出

- ① 1998年5月25日 吹田市教育委員会（宛）『お願い』
学校プールのヤゴ救出について。
⇒教育委員会は吹田の全小中学校現場に要望書をそのまま送付した。
- ② 1998年6月3日 吹田市緑化公園事務所所長（宛）『お願い』
紫金山公園の田圃をそのまま残して下さい。
⇒返事なし。しかし実際は少し動きあり。
- ③ 1998年8月24日 吹田市長（宛）『要望書』
環境配慮指針の作成委員に市民をメンバーとして含めることを要望。
⇒（回答）市で素案を作る。審議会で意見を聞く。
- ④ 1998年8月24日 吹田市長（宛）『要望書』
NPOが事務所の様に使用でき、かつ、団体同志の交流ができる場の支援、および吹田市のNPOセンターができれば素晴らしいと要望。
⇒NPO支援準備室は99年3月16日開設された。
- ⑤ 1998年9月11日 緑化公園事務所所長（宛）『お願い』
紫金山公園内のコバノミツバツツジの復元に伴う市民参加について。
⇒実現した。
- ⑥ 1998年12月22日 吹田市長（宛）『質問』
貨物ターミナルの緑被率17%に関して。
⇒（回答）開発指導要綱の規程に準じた処理をした。

- (2) 環境配慮指針を市民の立場から作成、そのための協議を重ねる
(8回・延べ 99 人参加)

- (3) 環境審議会に向けて意見提出(99.2.12)

2. 市の環境政策等に参画

- (1) 吹田市都市景観デザイン委員会に委員として参画
- (2) 市民講座「シティナチュラリスト講座」(全4回)に企画段階より参画
- (3) 環境教育フェア実行委員会に委員として参画(98.6)
- (4) 吹田市環境基本計画、意見を聴く会に出席・提言(98.4.19)
- (5) 緑化誘導マニュアル作成に参画
- (6) 吹田市緑化フェアに参画(98.10)

3. 環境調査・自然保護・保全活動

- (1) よみがえれ紫金山里山作業に組織的な参画をした。
- (2) 吹田市のため池の生き物調査、ツバメの巣実態調査を市の委託事業として引き受け、市民参加で調査、報告書・市民向けポスターの作成を行う。
- (3) 吹田タンポポ調査実行委員会に参画した。
- (4) ヒメボタル調査を呼びかけ、市内2カ所で組織的に実施し、吹田市ではじめてヒメボタルの生息状況を明らかにした。
- (5) 古木大木調査の本を完成させ、その本に基づいて市民向け公開観察会「古木大木散策みち」(6回・延べ130人参加)を実施した。

4. 学習・研修活動

- (1) 会員にむけての学習・研修アンケートをとり、まとめる。
- (2) 吹田市の環境に関する条例などの相関図を作成。
- (3) NPO研修会・ユニトピアささやま(98.10.31~11.1)参加13名。
- (4) シンポジウム「吹田の自然と環境保全」・紫金山公園(99.3.14)参加58名。
- (5) 吹田操車場問題での学習。

5. 他の環境団体や環境問題との協力、支援

- (1) 山田西公園に建つマンション建設反対への支援
- (2) 市の公民館出前講座(5回・片山、岸一2、東佐井寺2)
- (3) 垂水上池公園づくりに参画
- (4) 吹田商工会議所・環境シンポジウムにパネラー参加(98.9.26)
- (5) 茨木まちづくりネットワークとの意見交換
- (6) ニッショー緑地公園店建設連絡協議会との連携
- (7) 摂津市環境保全団体発表会に出席(99.2.27)
- (8) 東大阪市民環境会議の総会に出席(99.3.28)

6. 組織活動

- (1) 大阪府より「おおさか環境賞・奨励賞」を受賞する。
- (2) 定例幹事会の開催(毎月1回・参加人数毎回14~15名)→幹事会報告、毎月発行
- (3) 会報誌の発行(年6回)
- (4) 専門委員会を設置し、活動する。
「組織委員会」「学習研修委員会」「生き物調査委員会」「事務局」の4部門
- (5) すいた市民環境会議の入会しおりづくり

[総括・反省]

- (1) 2年目の活動が、より多くの会員と幹事の参加を促し、活動の幅が広がった。市民向け講座の開設、環境調査の受託、環境配慮指針など行政とのかかわりが多くなった。
- (2) 専門委員会を設置し、幹事の任務分担が広がり、より組織的な活動ができるようになった。

今後多くの会員が参加しやすい幅広い活動をしていかななくてはならない。

- (3) 活動の計画は、専門部会や事務局で練られたものに基づいて、計画的組織的にたてていくことが必要である。
- (4) 企業や他の団体との共同行動、協力関係をもっと具体的な形でできるようにしていかななくてはならない。
- (5) 会員の増加は、この1年間で34%増になっている。さらに、会員拡大や企業の参加も計画的に取り組んでいくことが必要である。
- (6) 市内の他のNPO組織との連携は機会あるごとにしてきているが、さらに継続して広げていくことが重要である。吹田市のNPO活動全体を盛んにし、市民が自らの活動で住みよい市を実現していくことが必要である。
- (7) 各地に市民環境会議のような組織ができていくが、それらの組織と交流する中で、組織運営や活動を学びあうことが必要である。



幹事立候補者名



秋山 こそえ(清水)	熱田 克子(五月が丘西)	浅田 都司男(千里丘中)
池上 慶子(山田東)	小田 忠文(内本町)	小田 信子(内本町)
加藤 俊二(青山台)	喜田 久美子(五月が丘西)	木田 祐子(千里丘上)
草野 弘靖(古江台)	黒田 能弘(春日)	小室 巧(片山町)
佐藤 和子(五月が丘西)	菅原 節子(片山町)	高島 耕一郎(山田西)
土志田 新八(山田西)	中村 小夜子(垂水町)	西尾 熱子(桃山台)
橋本 徹也(南吹田)	平 軍二(山田西)	松岡 要三(千里山西)
水川 晶子(江坂町)	三輪 信哉(岸部南)	山田 國廣(山田西)
吉村 哲彦(五月が丘東)		



当選おめでとう



市長・市会議員・府会議員選挙に当選された会員のみなさんです(敬称略)

市長 ♡阪口 善雄

市会議員 ♡池淵 佐知子 ♡寺尾 恵子 ♡西川 巖穂 ♡森本 彪
 ♡山口 克也 ♡由上 勇 ♡和田 学

府会議員 ♡阿部 誠行



1999年度 活動計画

1. 幅の広い活動を、組織的に取り組みます。
①生活環境②地球環境問題③自然環境④歴史、文化的な環境⑤組織拡大⑥学習研修活動に分担をして、活動を行います。
2. 古木大木調査後の保存活動を行います。
古木大木調査をした木に、市民が親しみやすいような名札を付ける取り組みを行います。
3. 市の公園づくりに参画します。
市の公園作成に対して、みどりの基本計画や緑化マニュアルにそった公園が作られるように要望すると共に、公園づくりの企画に対して参画できるようにします。
4. 生き物調査を継続しておこないます。
市内に生息するツバメやヒメボタルの調査を、昨年引き続き多くの市民参加で実施します。
5. 学習研修活動を昨年のアンケート集約に基づいて、市民参画のワークショップ形式で実施します。
6. 古木散策みちを公開の行事として年6回実施します。
7. 他市との市民環境組織との交流を深めます。
8. 市長、市議会議長、市議員との交流をはかり、議会で環境問題の取り組みがさらに行われるように働きかけます。

～．～

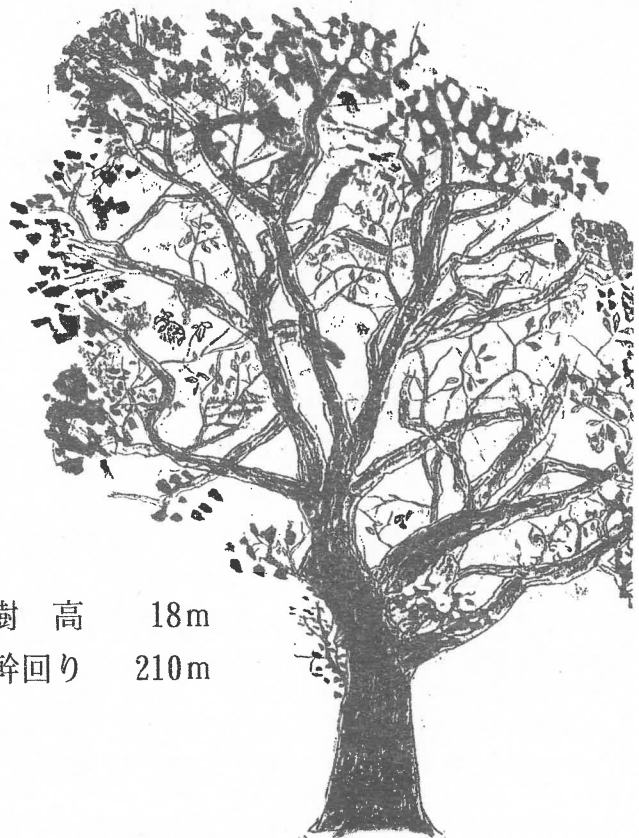
〈 吉志部神社・新しい道路わきのコナラ 〉

紫金山公園一帯は平安朝の瓦窯跡。府の重要文化財に指定された神社などが含まれる地域で、この雑木林には市内では最大規模のアベマキ・コナラ林があり、毎年10月には“ドングリ祭り”でこども達にもなじみの場所です。

ミズナラ(別名オオナラ)より葉が小さく樹皮は灰褐色で縦に長い割れ目が走り、葉は上半部が巾広く鋭い鋸歯があり、樹液にはカブト虫・クワガタ虫・蝶が集まり、材は薪炭やシイタケ栽培のぼた木になります。

樹 高 18m
幹回り 210m

 浅田都司男



■はぎのき公園改修工事について

報告者：草野弘靖

古江台にあります「はぎのき公園」の改修工事について報告します。

はぎのき公園の改修工事（池の改修とその周りに歩道をつける）がほぼ終わろうとしていますが、いくつかの問題がある公園になっています。

1. 水面と歩道の高さの差が大きく、また護岸の角度が急なため、人が落ちた場合危険なつくりになっています。また護岸の一部もコンクリートとかわらないような、隙間のほとんどない石組みになっています。
2. 水と親しむスペースがまったくありません。人が水辺で楽しめるような公園作りは時代の流れなのですが、...
3. 野鳥の生活に配慮したつくりになっていません。池の周りの低木が切られて、野鳥が隠れる場所が無くなっています。

さて、吹田市は「みどりの基本計画」や「みどりのマニュアル」を出しているので、私たちは安心して公園作りを見守ってきました。ところが実際にできあがった公園を見てみると、基本計画やマニュアルとかなりへだたりがあります。

どうしてそのような公園になったのか、緑化公園事務所にたずねてみました。

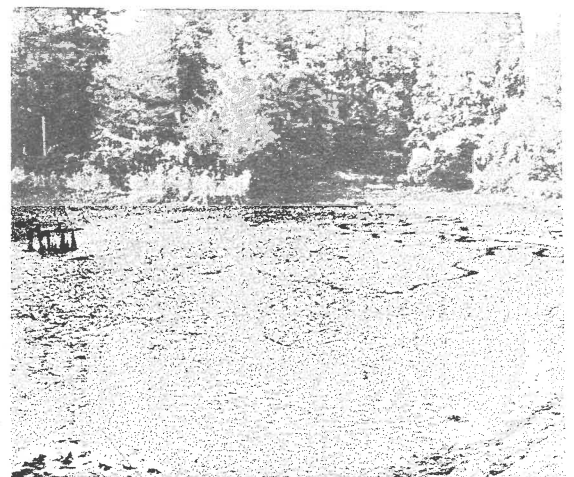
公園事務所の話によると、

- ・この公園改修は自治会からの要望があったのでおこなわれた。
 - ・魚釣りをする人がいるので、人が池に近づけないような構造にしてほしい、という自治会からの要望があった。
 - ・防犯のため、池の周りの木を切ってほしいという要望があった。
 - ・池の周りにはフェンスをつけるので安全上問題はない。
- とのことでした。

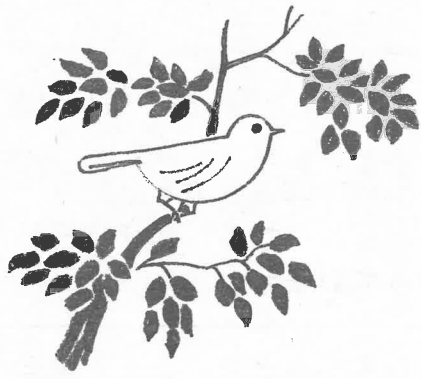
吹田市民環境会議の幹事会では5月2日にはぎのき公園の見学会を持ちました。そして、

- ・今回の改修の悪い点を示し、自治会との交渉で「みどりのマニュアル」をふまえて説明がされたのか、説明を求める文書を提出する。
- ・今後改修される公園のリストを我々は知らなければならぬ。また、現地を視察して市民環境会議の意見を出していく...

等の確認がされました。



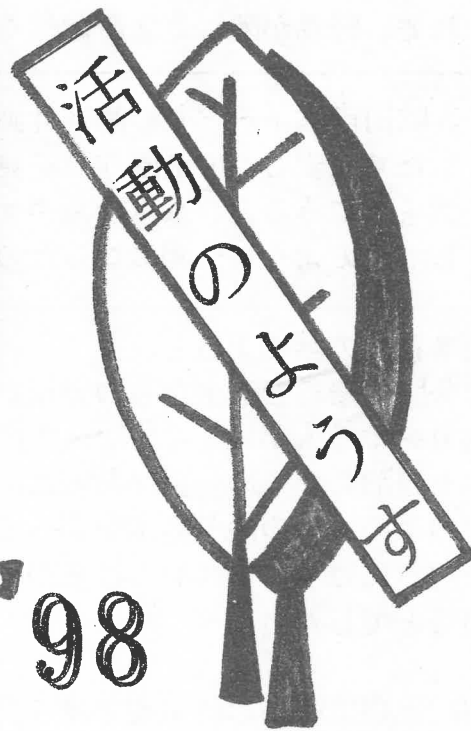
(改修前のはぎのき公園)



吹田の自然環境調査/ため池「この草の」



市民環境会議は、活動二年目にして大阪府より「おおさか環境賞・奨励賞」をいただきました



シティー・ナチュラリスト講座/野鳥編



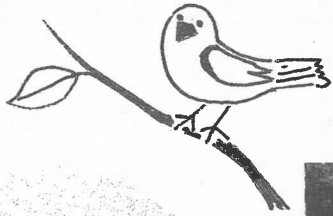
シティー・ナチュラリスト講座/昆虫編
バッタの運動会をしています!



岸部東新池 ショウジョウトンボ



シンポジウム「吹田の自然環境保全について」受付風景



ま・・・」



「たの古木・大木」の本が完成しました



吹田の自然環境調査/ため池・冬鳥観察



シティー・ナチュラリスト講座/草木編

吹田市自然環境講座
シティー・ナチュラリスト入門講座



藤前干潟は名古屋港の奥にある東西1km、南北1.5kmの干潟で、ここに春と秋とにシギやチドリが集まります。シギ・チドリの多くは、繁殖地のシベリアから越冬地のオーストラリアや東南アジアまで毎年数千kmの旅をし、その途中に日本を通過しますが、干潟は彼らの食料補給基地なのです。この宿場がなくなれば渡りは不可能となり、種の絶滅につながります。

ところが、干潟は人間には無価値に見え、しかも造成の適地なので盛んに埋め立てられて気が付いた時には、全国の遠浅の自然海岸はほとんど消えていました。だからこそ、わずかに残った、この小さな干潟が、地球環境にとって極めて重要なのです。

名古屋港は、もとは広大な干潟のあった所に造られたものですが、その中で藤前干潟だけが複雑な事情から、手付かずにポツンと残されていました。そこが、名古屋市のごみで埋め立てられそうになっていたのです。幸いにも、地元有志の多年にわたる保全運動から、全国的な世論が高められ、ついに埋め立て計画を撤回にまで追い込んだことは、我々に大きな勇気を与えてくれました。

今回のツアーは、この有名な藤前干潟を一目見たいという素朴な動機から計画されたものですが、行くからには漠然と干潟を眺めるだけでなく、鳥もしっかり見てほしいのですが、干潟の鳥は遠くて双眼鏡ではよく見えないので、高倍率の望遠鏡を扱い慣れた吹田野鳥の会会員に参加を呼びかけました。

さて当日は夜来の雨にもかかわらず、申し込んだ26名全員が定刻前に集まり、JRバスは南千里を8時に発車。雨の名神高速を快適に走り、車中でシギ・チドリのにわか勉強をしながら3時間で現地に到着しました。干潟前の堤防上にはテントが立てられており、干潟を守る会のイベントが開催中でした。

雨に煙る干潟は果てしなく広がっているように見えたが、干潮まで間があって潮が堤防の足元に残っていたお陰で鳥を近くで見ることができました。

水鳥は雨には平気なのですが、雨に弱い望遠鏡の扱いには苦労しました。

探鳥には最悪の条件で多くは望めませんでした。シロチドリ・ダイゼン・ハマシギ・イソシギ・ソリハシシギ・オオソリハシシギ・チュウシャクシギ・オバシギなどの外に、数種のカモ類とカモメ類が確認され、数百羽のハマシギの群舞や、コサギが片脚を振るわせて泥中の餌を追い出す仕草などに、多くの方が満足されたようでした。



シジュウカラ(四十雀)

シジュウカラ科

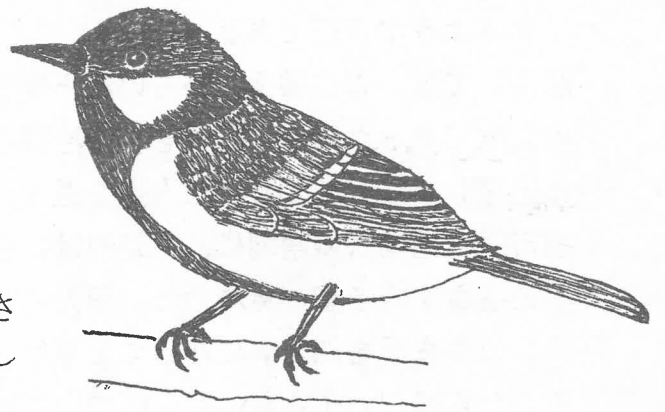
吹田市で観察・記録されている野鳥は130種を超えているが、このうち吹田市内で繁殖＝子育てをしている鳥は25～30種と推定され、林の中に住むシジュウカラもその内の1種です。

シジュウカラは黒いネクタイが目立つ雑木林が好きな小鳥で、吹田市内では万博公園・紫金山公園・千里緑地・垂水神社など、大きな緑の塊＝コナラ・アベマキなどを中心とする雑木林のある所に、一年中住んでいます。

秋～冬に「カラの混群」

と呼ばれている鳥の群、シジュウカラを中心にヤマガラ・エナガ・メジロ・コゲラなどが一緒に木の虫を探して林の中を移動しており、小さな公園や住宅地の庭木にも群が巡回してきます。

早春2月頃、日ざしにやわらかさを増す頃、カラの混群から抜け出したシジュウカラの雄は、木の梢に陣取ってのなわばり宣言「ツツピー・ツツピー」とさえずりを始めます。



4月頃、シジュウカラは林の中で枯れ木にある孔(洞)や、石垣の隙間、人家の郵便受けなどの巣作り場所を探し始めるが、人の世界と同様住宅難で巣作りに困っているため、巣箱をかけるると必ずといっても良いくらい利用してくれます。巣箱は、入り口の大きさをシジュウカラの体に合わせ直径2.8cmとするのが決め手で、直径を3.0cmにするとスズメに占拠されるそうです。

5月～6月はすべての鳥が子育てに入っていますが、人が近づくと巣を放棄することもあるくらい神経質な面があるので、「近づかないで野鳥の巣」を守ってほしいと思います。3週間もすればヒナが巣立つので、子供たちの愛らしいしぐさが見られます。また落ちていたヒナを拾ってきても育てられないので「ヒナは拾わないで」ほしいと思います。

シジュウカラが一年に食べる虫の量は12万5千匹と言われています。林の中の生態系の一員として、一日中林の中を見回りながら害虫が増加するのを防ぐ、植物・昆虫のバランス係としての役割を担っています。

平(ヒラ)軍二

大木と吹田の散策みち

江坂みち

◆日時 3月27日(土) 9:30~12:30◆集合場所 御堂筋線江坂駅A改札口◆参加人数 15人

江坂の昔に思いを馳せて

✍ 梅田 茂

江坂駅周辺のにぎわいを少し離れると、かつて榎坂郷といわれた地域になり、古い町並みが見られ、そこここに昔ながらの門構えの家がある。

名神高速道路の高架下で「蔵人村」の説明を聞く。現在も「蔵人」の名が残ってるが、村人が年貢の不平等改善のため、領主や武士と対峙して村の自治を行っていたなど、心がわくわくするような昔話である。

法泉寺では、ご住職よりいろいろと貴重なお話があった。特に渡邊英綱という医師で和算の大家であった人が、薬草を育て治療を行い、また億単位の大数を扱って算盤塾を開き、後に出家したなど風変わりな人生を送ったそうである。

都市緑化植物園の南端にある鎌池は、住宅に囲まれてなくきれいな池で、「あっ、カワセミ」と指さす方を皆が見つめた。雨天のため、釣り人も見られず、ひっそりとした辺りの様子、このまま手を加えずに残しておきたい自然の一つである。

そこから高川の土手を歩く。雨で少しぬかるんでいたが、松の並木と低く流れる川の水が何とも言えない眺めになっている。

そうした榎坂郷の昔に思いを巡らせながら、江坂駅に近づくと、騒がしい現実に戻る。自然への思いと都会の魅力、離れつつある二つを、何とかつなぎ止めたいとの気持ちを深めた一日でした。ありがとうございました。

一緒に歩きませんか!

佐井寺みち

日 時	5月22日(土)9:30~12:00
集合場所	阪急バス停・佐井寺*
持ち物	水筒
参加費	500円(保険ほか)

*JR吹田から桃山台行きなど



今年もヒメボタルが飛び始めました！

5月1日からヒメボタル生息調査が始まりました。調査に参加しませんか！

- ◆ 集合時間 午後8時
- ◆ 集合場所 西山田公民館

吹田市長へヒメボタル保護の要望を提出しました。

- ◇ 海老池からゲイトボール場までの街灯を、ホタルが光る時期だけ消します。
5月中旬には看板が立ちます。
- ◇ 高塚地区のヒメボタル保護を検討します。
保護のための話し合いが行われます。

- ◎ 高町池周辺、千里山高塚地区以外でホタルを確認した人はお知らせください。

連絡先 ☎06 6319-0630 小田(18時以降お願いします)

散策みち

7月24日(土) 片山みち	am 9:30 吹田市役所正面玄関
9月25日(土) 千里山みち	am 9:30 阪急千里山駅改札口
11月27日(土) 千里丘みち	am 9:30 JR千里丘駅改札口

吹田の生き物調査・マップ

- ◆ ツバメの巣マップ この時期はツバメの子育ての真っ最中です。
このマップを参考にツバメを見守ってあげてください。
- ◆ ため池マップ 吹田には100ちかくのため池がありますが、今回はそのうちの12のため池を対象に調査をしました。その結果、生物が生息しやすい池の姿がよく見えて来ました。多様な生物の共生をふまえ、これからの池の在り方を考えて行く必要があると思います。

99年度会費納入者 (敬称略) 99.4.30現在

◀ 個人会員 ▶

秋山こずえ	浅田都司男	足立ちず子	熱田 克子	阿部 誠行	有田 亮一
井川視秧子	池淵佐知子	石川 信行	市川貴美代	伊藤 勝子	稲波 誠
岩溪 恭子	梅田 茂	卜部 弘信	大澤 浩子	岡 和子	岡田 篤司
岡村 昇二	奥田 倫子	小田 忠文	小田 信子	小田 定子	越智 清光
笠岡 英次	加藤 俊二	喜田久美子	木田 祐子	木原 治子	木村 雅英
木村雄次郎	草野 弘靖	國田三紗子	熊野 節子	熊野三千代	黒沢 孝
黒田 悦三	栗本 修滋	小出英津子	小松 正史	斎藤 伸吉	坂口 善雄
佐藤 和子	篠原 昌子	菅原 節子	高畠耕一郎	高山 宣	田口 実
武下 郁子	武田ゆき子	巽 京子	田中 一子	土志田新八	中澤 恵子
長坂 孟重	長崎 尚子	中土 康雄	西尾 熱子	西川 整子	西木 勲
野口 裕康	橋本 徹也	長谷川達海	林 捷子	平 軍二	平沢 綾子
平山 節子	伏木 章	藤村 修	二上 正子	牧野 展元	松田 遼
水井 賢治	水川 晶子	邑本 恵子	村住 和子	室谷久美子	本地 綏子
森本 彪	山口 克也	由上 勇	北村 正子		

99新会員

山田千穂子	菅原 潔	高桑 常子	種本 悦士	藤原 博史	本池 清弘
岸田 恒夫	沖原 満生	大西 広季	丹羽ミネ子	上田 万吉	岡部 佐内
平田 敏	生駒 敏子	井上 正治	瀬川 勝	瀬川 和子	岩城 寿雄
北方 隆	和田 学	新名 貞夫	西川 巖穂		

◀ 法人会員 ▶

海洋工業(株)

99年度会費納入のお願い

99年度会費は 1999年4月～2000年3月分になります。同封の振り込み用紙で至急お振り込みください。よろしくお願い致します。

環境問題、自然・歴史・文化の保全、創成を考える市民組織

すいた市民環境会議 入会受付中 !

- ◆ 年会費 個人会員 1000円 / 法人会員 10000円
- ◆ 振り込み先 00980-3-28845 すいた市民環境会議